

# 日本ルツボ 岡田民雄会長(74)

## トップ直撃

日本坩堝の名を使っていたが、読みやすくなるために数年前、通称名をカタカナに変えた。ルツボは遠くメソポタミア時代にも登場する伝統工業品だが、文科系技術者ともいえる岡田民雄会長は、そこに新しい息吹を吹き込み、近代工業品へとよみがえらせようとしている。



龍誠四郎撮影

おかだ・たみお 1937年6月25日生まれ、74歳。千葉県富里市出身。成田中学、佐倉一高(現佐倉高校)、慶応義塾大学文学部

卒業。60年4月、日本坩堝入社。国内営業、海外営業部長等を担当し、88年同社を一度退社。久能カントリー倶楽部取締役営業部長・

総支配人を経て日本坩堝に復帰。監査役、専務、副社長を務め、96年2月に社長に就任、2007年6月から現職。

### 中国へ本格進出

東日本大震災の影響はいかがですか  
「リーマンショックのときは受注が30数%ダウンするなどショックが大きかったですが、今回はそれほどでもない。4、5、6の3カ月は厳しかったけれど、今後は復興需要に乗って耐火物需要は増えてくる

「メルキーパー」(溶解・保持炉)や耐火物を生産しています。また今年6月には上海に100%出資の販売会社「日坩商貿(上海)有限公司」を設立、本格的に中国市場への売り込みをかけています

「メルキーパー」を開発したときも、ルツボ不用の溶解炉が普及し始め、危機感を感じた。何とかルツボの衰退を食い止めた。いや創業以来の商品であるルツボを復活させられないかと考え、ルツボを2つ連結させ、溶解させた溶湯を別のルツボで適温で保持する溶解・保持炉を開発した。製品の歩留まりにも優れ、省エネにもつながる画期的なルツボを使用したアルミ連続溶解炉になった

# 開発は不可能を可能にする

「小泉信三先生(元慶大塾長の『練習』)が不可能を可能にする」という言葉が好きで、それをもじって『開発は不可能を可能にする』という本を書きました。文科系から開発ができないのではな

「要は問題意識を持つ」とのことです。岡田会長は文科系出身ですが、開発も手がけているとか

【会社メモ】ルツボに代表される耐火物メーカー。1885(明治18)年、創業126年の老舗企業。本社・東京都渋谷区。東証2部上場。販売先も鉄鋼・非鉄の製造業、鉄鋼業、そして焼却炉と多岐にわたる。ルツボとはアルミや銅などを溶かす壺状の容器を指し、太陽光発電用ポリシリコンの溶解にも使われる。中国、タイなどにも進出し、得意先は国際的に広がっている。2011年3月期の連結売上高78億8700万円、経常利益3億2400万円。連結従業員数206人。

多くの賞ももらいました

「私の発案を技術者が形にしてくれたわけですが、田賞、中小企業庁長官賞、経済産業大臣賞、発明大賞などを受賞した。また台数にして250台以上が世界で使用されています」

「斜陽と思われるルツボ技術が、創意工夫で成長商品に

「ルツボは決して古い技術ではないと私は思っている。太陽光発電用のポリシリコンの溶解、原発廃棄物処理にもルツボは活躍している。ルツボはすごい特徴をもった製品だと思いますので、今後その用途開発に力を入れていきたい」

「96年ごろから『エコカバリ』の商品名で、ルツボを使ったアルミや銅のリ

### 危機感とアイデアがヒットを生んだ

「私は早くからアルミリサイクルの『肩籠』を唱え、小さなリサイクル炉を工場や地方都市などのあちこちに配置。そしてインゴットにして物流に載せる。するとそこに付加価値が生まれ、処理する人たちに多少なりとも収入がもたらされるという仕組みを考えています。『エコカバリ』をその肩籠にできないかと思

## 長嶋茂雄と2人でお風呂



「私は早くからアルミリサイクルの『肩籠』を唱え、小さなリサイクル炉を工場や地方都市などのあちこちに配置。そしてインゴットにして物流に載せる。するとそこに付加価値が生まれ、処理する人たちに多少なりとも収入がもたらされるという仕組みを考えています。『エコカバリ』をその肩籠にできないかと思

【思い出の長嶋茂雄】「長嶋さんは佐倉一高の2年先輩。兄が野球部のコーチをしていたこともあり親しくさせてもらっていた。1960年に長嶋さんが成田山新勝寺の節分祭に年男として招かれたとき、ホスト役を私が務め、豆まき前の斎戒沐浴に2人だけでお風呂に入ったことがある。思い出のお風呂です」

【文科系技術者】もともと理科系志望で大学も第1志望が東京工業大学。しかし解析を克服できず、慶応義塾大学文学部へ。だが開発への夢は止まず、いまでも技術者と一緒に精を出す。99年に開発した日本製造工学会・豊田賞をはじめ数々の賞に輝いたヒット商品「メルキーパー」は、岡田氏の発想を

【雑技団】「小さいころ、成田山で見たサーカスや見せ物小屋が忘れられない。いまは中国の雑技団にはまっています。地球儀の中をオートバイが走る芸など見ても飽きない」

【展示会】「展示会が大好きで暇さえあれば海外にも出かけます。どんな最先端技術、新製品が並んでいるのか興味津々で、開発者の苦労話などが聞ければ最高です。7月初めにもドイツで製造・金属の世界最大の展示会GIFAを見に行ってきました」

【任して、任さず】「私には3人の父がいる」と岡田氏。1人は実の父親である藤崎源之助。1人は家内の親である岡田真雄。もう1人が茂木克己(元キックマン社長)。2人も父の弟で、それぞ



1944年、この家族写真。左から2番目が岡田氏